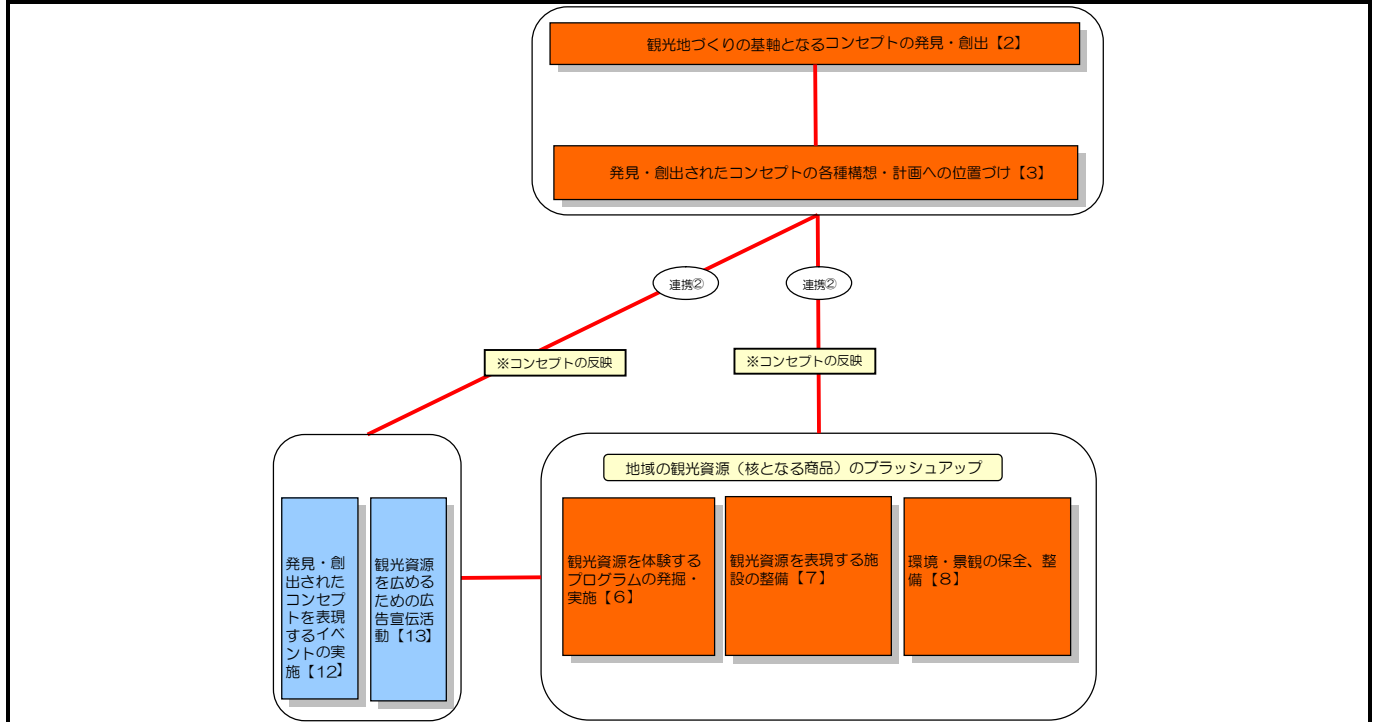


連携 ②	各取組へのコンセプトの反映		取組【2】【3】【6】【7】【8】【12】【13】
	特徴的な事例	07-会津若松 10-富士河口湖 14-豊後高田	



連携の狙い

○構想・計画に位置づけたコンセプトを具体的に表現するために、観光資源を表現する施設の整備やイベント等をコンセプトに沿った形で実施していく。

連携のポイント

○継続的なイベントの開催によるコンセプトの定着

・その時々ブームを反映したような単発的なイベントの実施や広告宣伝活動が多く見られるが、構想・計画に位置づけた地域のコンセプトを反映したイベントや宣伝活動を継続的に実施することで、コンセプトの定着を図ることができる（豊後高田では、コンセプトである「昭和の町」を反映させた「ダイハツミゼット昭和の町に生まれ！」を開催することで、イメージの定着を図っている）。

○施設へのコンセプトの反映

・博物館や美術館などの観光の目的となる施設（以下、目的施設）の整備に関しても、地域のコンセプトが反映できていない場合が多く見られる。観光の目的となる施設は、観光地としてのイメージを発信する重要なものであるため、整備の段階において、例えば建物や空間の素材、色、内容をコンセプトと照らし合わせて作っていく必要がある。

期待される効果

○コンセプトに沿った形での施設の整備やイベントの実施が、観光地としてのイメージづくりに大きく貢献する。